

臨床研修医へのメッセージ

水戸総合病院 研修医
木滝 真之

当病院は地域の二次医療を担う中規模の市中病院で、外来・救急とも毎日多くの患者さんが訪れます。小児からお年寄りまで幅広い疾患を数多く診ることができ、研修医は担当患者の診察から検査、診断、治療、退院まで第一線で活動しますので、医師としての基礎能力を育む場として最適と考えます。私は研修先を選ぶ際、コ・メディカルスタッフとの協力が密な病院、症例数や疾患の種類が多い病院、地元、の三点に注目し当病院を選びました。患者や家族からのニーズが多様化・高度化してきた昨今、病院は単に病気を治すだけの場ではなく、退院先の選択、退院後の健康管理や社会福祉の活用についても方針を示すことが求められています。自分ひとりではできることには限界があるためコ・メディカルスタッフとの協力が不可欠ですが、当院では緊密な連携が可能です。また、初期研修では数多くの疾患を診て病態を体で覚えたいと考えていましたので、疾患の数と疾患の種類観点から中規模の病院を選びました。地元であることは、患者さんの生活背景を知る上で役立っています。よくある病気を着実に診る力をつけたいと考える方に、当病院での臨床研修をお勧めします。